
できるだけ素っ気なく、でも優しさを忘れずに

euReka

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

できるだけ素っ気なく、でも優しさを忘れずに

【Nコード】

N9216L

【作者名】

e u R e k a

【あらすじ】

「つまりセックスとは生命に対する挑戦なんです！」。悩める主人公は、人を殺し、ひたすら思考しながら群衆の前で指揮棒を握る。その曲目とは。

寒かった。

男はピストルを動物に向けながら、私の質問に答えた。

「つまりやつらが、無抵抗だからさ」

男は動物を撃った。

「生きたければ、抵抗するしかない」

「では、抵抗する手段がない場合は？」

「知らんよ」

私は自分のピストルを取り出した。

「俺を撃つ気か？」

「ええ」

「撃てよ」

私は男を撃った。

「意外と痛みはないぜ、でも……」

私は動物園を出ると路面電車に飛び乗った。

「次の駅は、論理の痛み、論理の痛みと、言葉と詩と恋……」

向かいの席に腰かけるミニスカートの女子高校生が、太股をあげて足を組み直した。

「えー次は、非論理の快樂、非論理の快樂と、物語と夢と恋……」

私の隣りに座っていた中学生の男子は、携帯電話のカメラで女子高校生の太股を撮っている。

「えー携帯電話のご使用は、適切に、適切に」

女子高校生は中学生の視線に気付くと、はだけたミニスカートをさつと直した。

「えー続きまして、音楽広場、音楽広場でございます」

私は壁のボタンをピンポンパンと鳴らした。

「ああそっか！」

私は気付いた。

「論理的な人間存在の一つの帰結としての恋とは生命存在の中へ閉じ込められる永遠に対する抵抗である！」

私は女子高校生と中学生の手を引っ張って、ピンポンポンと電車を降りた。

「もおっ！ なにすんのよ！」

「つまりセックスとは生命に対する挑戦なんです！」

「ぜんぜん、意味わかんないんだけど！」

広場へ入って行くと、陽気なバイオリン弾きが私たちをエスコートした。

「人殺しと生徒たち、そろってご来場でーす！」

広場に集う人々から拍手と歓声が上がった。

「よっ、待つてました！」

「好きよ！ あたしも殺して！」

群衆の中から、一人の男が私に声をかけた。

「よう、また会ったな」

あの動物殺しの男だ。

「やっぱり、あのままでは死にきれなくてね」

男は一本の指揮棒を私に投げた。

「早く舞台上がれよ。皆お待ちかねだぜ」

群衆は二つに分かれて道を作り、私たちを舞台へ誘った。

「さてさて、指揮者の殺人ナルシストさんが到着しましたよ！」

マイクを持った司会者が、待ち構えていたように喋りはじめた。

「高校生と中学生は素敵な歌を、そして演奏は25世紀交響樂團でお届けします」

指揮棒の先端に止まった砂粒ほどの虫が、透明な羽を天に向け広げた。

「曲は交響詩《できるだけ素っ気なく、でも優しさを忘れずに》どうぞー！」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9216/>

できるだけ素っ気なく、でも優しさを忘れずに

2010年10月13日12時47分発行